

ゆあさ 議会だより

令和3年5月発行 No.82

発行：和歌山県湯浅町議会

編集：議会広報編集常任委員会

住所：〒643-0002

有田郡湯浅町大字青木668-1

TEL 0737-64-1118

FAX 0737-62-4450

URL：<http://www.town.yuasa.wakayama.jp/>

e-mail：gikai@town.yuasa.lg.jp



3月定例会

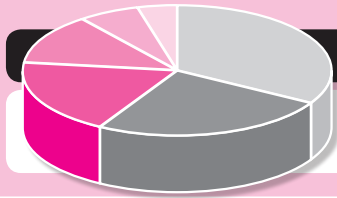


JAPAN HERITAGE

表紙 湯浅中学校入学式

- 新年度一般会計予算 2
- 全員協議会 3~6
- 常任委員会 7
- 一般質問（8人が登壇） 8~15
- 賛否表・編集後記 16

湯浅駅前公園整備事業	1億6,523万円
地域福祉センター建設工事	7億7,779万円
栖原ポンプ場改築工事委託	3億6,000万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	8,258万円



令和3年度一般会計予算

93億6,472万円(前年度比較4,901万円減)

令和3年第1回定例会を3月10日から23日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された各会計(補正)予算、条例改正など、提案された議報2件、諮問3件、議案30件、報告1件、発委2件は原案の通り可決・承認しました。

(単位：万円)

項目	金額	主な歳出の説明
議会費	6,709	議会運営費など
総務費	23億4,145	地籍調査事業、防犯カメラ設置事業、交通安全対策費、駅周辺整備事業、湯浅えき蔵運営費、ふるさとまちづくり寄附金事業、ふるさと納税業務委託、徴税費、戸籍住民基本台帳費、選挙費、統計調査費など
民生費	30億4,307	地域福祉センター建設事業、総合センター費、老人福祉対策費、障がい者(児)対策費、人権啓発推進費、ひとり親家庭医療費、湯浅小学校特別教室棟改修工事等の児童福祉費、災害救助費など
衛生費	8億6,832	新型コロナウイルスワクチン接種事業、小児インフルエンザワクチン接種助成、環境衛生費、保健センター運営費、健康づくり事業費、各種がん検診、清掃対策費など
農林水産業費	1億8,400	農業委員会費、鳥獣害防止対策事業、中山間地域等直接支払事業、小規模土地改良事業、紀州材利用促進事業、漁港機能保全工事など
商工費	8,719	商工会補助金、観光用駐車場等管理業務、湯浅観光まちづくり推進機構負担金、各まつり補助金など
土木費	9億8,845	道路側溝改修工事、町道外道路改良工事(湯浅126号線)、栖原ポンプ場改築工事委託、通学路交通安全対策工事、定住促進奨励金、空家除却補助金など
消防費	3億4,686	本町区防火水槽設置工事、災害用備蓄用品、ブロック塀耐震化補助金、湯浅広川消防組合負担金、石油貯蔵施設立地対策等交付金基金積立など
教育費	7億3,593	ICT特別支援員導入費、デジタル教科書購入費、ゆあさ醬祭り負担金、伝統的建造物群保存対策事業など
その他	7億236	災害復旧工事、公債費、予備費など
歳出合計	93億6,472	

全員協議会

一般会計予算

問 防犯カメラ5か所分の予算が計上されているが設置場所は決まっているのか。

答 3か所は、計画の場所に設置予定です。残りの2か所分は、要望等対応分です。

要望 防犯等、目的が十分に果たされるよう考慮しながら増設して欲しい。



湯浅小学校付近の防犯カメラ

問 町内防犯灯のLED化の進捗状況は。

答 年間70〜80か所LED化を進めています。

要望 長期的にみるとLEDの方が経済的であるので、計画的に進めて欲しい。



要望 大きい単位だと防災活動用具が行き渡らない等の事態も想定されるので、検討して欲しい。

答 今後、災害時行動要支援者の個別計画策定時に、組単位での自主防災組織づくり等も検討したいと思います。

問 大規模災害時には、共助という観点から自主防災組織が非常に重要。区によっては、もっと細かく10〜15戸単位での組織づくりが適当という考え方もあるが。



問 重伝建地区に設置されているWi-Fiの有効範囲は、区域全体をカバーできるものなのか。

答 重伝建地区休憩所等の設置されている施設内及びその周辺程度です。

要望 国内外を問わず、観光客の誘致には非常に大事なものと考えるので、範囲の拡大を今後検討して欲しい。



重伝建地区休憩所





新型コロナウイルスワクチン接種予定会場（なぎホール）

問 湯浅町進学・就職支度金について詳細を教えてください。

答 経済的な事情のある方の進学・就職等における新生活準備資金です。学校等の種類により金額は異なります。支度金は教育委員会に申請し、所得等の審査を経て支給されません。

令和3年度 各特別会計予算・水道事業会計予算

単位：万円

項目	予算額	説明
国民健康保険事業	17億4,221	保険給付費・国民健康保険事業納付金など
駐車場事業	62	駐車場運営費など
同和対策住宅新築資金等	4,848	住宅新築資金等総務費・前年度繰上充用金など
農業集落排水事業	5,942	農業集落排水管理運営費など
介護保険事業	13億9,384	保険給付費・地域支援事業費など
後期高齢者医療	3億2,610	後期高齢者医療広域連合納付金・保健事業費など
水道事業 収益的収入	2億8,041	給水収益など
水道事業 収益的支出	2億6,951	営業費用など
水道事業 資本的収入	1億5,060	企業債・他会計出資金など
水道事業 資本的支出	2億6,697	国道42号配水管布設替工事・横田浄水場非常用発電設備設置など

令和2年度一般会計補正予算
(第7・8・9号)

ふるさとまちづくり基金積立・ふるさと納税業務（第7号）、新型コロナウイルスワクチン接種事業・公立学校情報機器整備・学校保健特別対策事業（第8号）、障害者自立支援給付費・町内路面舗装工事・栖原ポンプ場改築工事委託（第9号）など、8億4661万円を追加したものです。

令和2年度各特別会計補正予算

単位：万円

項目	補正額	説明	補正後の額
同和対策住宅新築資金等	0	住宅新築資金等貸付金滞納整理促進対策事業補助金	9,566
農業集落排水事業	▲15	施設設備点検委託費の減	4,535
介護保険事業	0	居宅介護サービス給付費等	13億9,535

特別会計予算

問 湯浅町は、がん検診の受診率が低いと聞いているが特定健診等の受診率はどうか。

答 例年は概ね28%程度でしたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で集団健診を中止したこともあり、約27%でした。

要望 今後とも啓発方法等を検討し、受診率を高めるよう取り組んで欲しい。

問 新型コロナウイルスの影響で医療機関の受診控えがあるという話を聞いているが、湯浅町における総医療費はどうなっているか。

答 今までは医療費は年々増加する傾向にありましたが、今年度は前年度並みかやや減少するものとなっています。

問

介護事業所、特に訪問介護事業所において人材確保が難しいと聞いているが、町の支援施策はあるのか。

答

現在のところ施策はありませんが、危機意識を持って今後検討して行きます。

要望

介護職のイメージ改善等支援施策を検討・強化して欲しい。



要望

国道42号線の配水管布設替工事が予算計上されているが、今後とも生活に欠かせない水の安定的な供給のために計画的に取り組んでもらいたい。

人事案件

○人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件

引き続き、平林園子氏を、また新しく宮井義和氏、堀田正氏を適任と答申しました。

主な条例制定

○コミュニティセンター設置及び管理に関する条例

町民の交流及び活動の場を提供し、町民の文化的生活の向上を図ることを目的に、栖原区旧なぎ園跡地に建設される栖原区民センターの設置及び管理において必要な事項を定める条例です。



栖原区民センター

○犯罪被害者等支援条例

本町における犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定め、町及び町民等の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、その施策を総合的に推進し、犯罪被害者が受けた被害の早期回復及び軽減を図り、安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため、本条例を制定するものです。

○観光用駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正

改良住宅跡地の観光駐車場の弾力的な運用を図り、地域住民とともにまちづくりに資するため条例の一部を改正するものです。

○国民健康保険条例の一部改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、新型コロナウイルス感染症の定義を改正するものです。

○介護保険条例の一部改正

第8期介護保険事業計画の策定に伴い、令和3年から令和5年までの介護保険料の額を定めるた

め、条例の一部を改正するものです。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

子ども子育て支援法において、地域型保育事業を行う者の確認について、事業所が所在する市町村以外による確認を不要とする見直しがされたため、本条例第2条における条項のずれ及びその他所要の修正を行うものです。



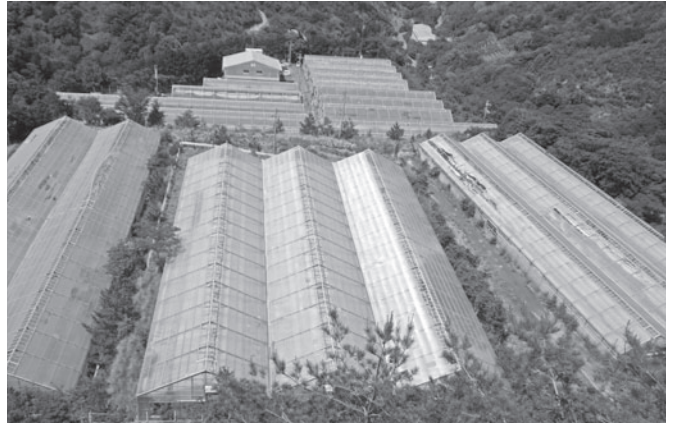
○温室・露地栽培施設設置及び管理に関する条例の廃止

施設の耐用年数が過ぎることや社会経済情勢の変化等に伴い、地域（組合）の自主性に委ね、施設の多面的利用を含めた創意検討により、地域（組合）の自立を促すことで地域活性化につなげるため本条例を廃止するものです。





露地栽培施設



温室栽培施設

その他

○財産の無償譲渡について

現指定管理者である農事組合法人湯浅町農産物生産組合に対しては、温室施設（栽培棟・育苗棟・集出荷施設等）を、農事組合法人山田山みかん生産組合に対しては、露地施設（農具倉庫・猿侵入防止策等）を無償譲渡するものです。

○権利の放棄について（同和対策住宅新築資金等貸付金にかかる債権）

借受人・保証人・財産の状況から見て、県住宅新築資金等貸付金回収管理組合償還事務審査会において回収不能と判断された債権で権利の放棄を行うためのものです。

○工事請負契約の締結について

- ・ 駅前駐輪場整備工事
 - ・ 地域福祉センター建設工事
 - ・ 地域福祉センター前公園整備に伴う造成工事
- ★(株)中井組
- ・ 地域福祉センター建設に伴う法面対策工事
- ★中平建設(株)

○各施設指定管理者指定

- ◇湯浅町共同浴場
- ◆(有)美清
- ◇湯浅町地域福祉センター
- ◆社会福祉法人 湯浅町社会福祉協議会
- ◇湯浅町水産業同和対策事業施設
- ◆湯浅湾漁業協同組合
- ◇湯浅町木材加工大型共同作業場
- ◆(有)関西プレカット工業所



共同浴場『宝栄湯』



木材加工大型共同作業所

町内各所主要事業の現地確認を実施！！

3月15日(月)開催の全員協議会において、主要事業の進捗状況や稼働状況、新年度計画の新規工事予定箇所など町内6か所を議員全員で現地確認をしました。現地確認箇所は下記のとおりです。

- ★地域福祉センター建設予定地
- ★方津戸峠道路改良予定地
- ★栖原区コミュニティセンター建設現場
- ★一気通貫産直加工流通加速化センター
- ★旧図書館（ふるさと振興課）
- ★駅前駐車場建設現場



方津戸峠（栖原35号線）道路



旧図書館（ふるさと振興課）



駅前駐車場建設現場



総務文教まちづくり
常任委員会

○令和3年度総務文教まちづくり常任委員会の主要テーマについて
本常任委員会は、新年度の主要テーマを次のとおり決定しました。

- ★ふるさと納税事業
- ★歴史文化事業

- ・旧栖原家改修事業
- ・湯浅城跡保存事業

新年度からは、このテーマにおいて、各委員がより積極的に研究し、現地確認や先進地視察などを通して、より良い事業となるよう当委員会を取り組んでいきたいと思っております。

福祉産業建設人権
常任委員会

○令和3年度福祉産業建設人権常任委員会の主要テーマについて
本常任委員会は、新年度の主要テーマを次のとおり決定しました。

- ★地域福祉センター建設事業
- ★湯浅126号線他(熊野古道)道路改良事業

- ★部落差別解消推進基本計画策定に向けた実態調査事業

新年度からは、このテーマで事業内容の確認や進捗状況等に重点を置き、当委員会を取り組んでいきたいと思っております。また関係機関の意見や先進地での取組等も各委員で研究し、完了時には町民に喜んでもらえるような事業にしたいと思っております。



湯浅城跡青木山



湯浅126号線道路

○町民人権学習会について

【報告】今年度は新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等による人権侵害が全国的に問題となっており、これを踏まえ、『感染症と人権』をテーマに、3日間に渡り開催し、区長・人権尊重委員・町職員等を対象に実施しました。また啓発資料等についても2月1日に全町民(各戸)に配布しました。

【要望】今後は、小中学校の教職員全員が参加できるよう開催日時等も考慮して欲しい。

○職員人権研修(障がい者対応)について

【報告】「湯浅町障がい福祉計画」を踏まえ、様々な障がいの性質や、それに応じて必要とされる「合理的配慮」の内容等について、「障がい」を理由とする差別を解消するための職員対応要領」により、町職員としての対応のあり方を再確認するため研修を実施しました。

○保育所職員研修について

【報告】今年度の研修は、「部落差別をなくす取組」と「家庭支援の役割」をテーマに実施しました。

保育所職員として部落差別を正しく理解し、同和問題解決に取り組んでいくこと。家庭支援保育士の歴史を把握し、経済的に不安定な家庭や、発達に問題のある園児に関わり、地域や小学校とも連携しながら支援にあたることなどを研修しました。

○人権学習の手引きについて

【報告】小中学校の教員が、同和問題(部落差別)について、社会科学や道徳などの教育課程の中で、各時代・テーマで押さえておきたい内容や、視点をクローズアップし、同和問題に対しより深く授業を実施できるよう手引書を作成しました。今後は、手引書の内容を踏まえ、児童生徒の発達段階に合った授業の取り組みを活性化し、児童生徒の人権意識の高揚を図ります。

【意見】教職員が一丸となり取り組んでいくことが、部落差別解消の一番の近道だと考えます。



人権学習冊子





石橋 千歌子 議員

①新型コロナウイルスワクチン接種について
 ②災害時に強い防災の備え
 ③^{せきちゅうそく わんしょう}脊柱側弯症検診（モアレ検査）について

質問①

新型コロナウイルスの感染リバウンドや変異株の感染拡大も懸念される。三密回避・マスク着用等の基本対策が有効。一日も早いワクチン接種が望まれます。開始時期や優先順位、費用負担などの状況は。

答弁（健康福祉課長）

第一回目のワクチン5百人分が4月に到着予定、65歳以上の方は約4千人と数が不足している状況です。今後のワクチン配布が未確定のため、80歳以上の方から接種クーポンを送付し、受付を行います。なぎホールにて集団接種を開始し、体制が整い次第、個別接種も検討しています。費用負担はございません。皆さんが安心して接種を行えるよう広報等で、ワクチンの安全性や予防効果等も周知していきます。

質問②

東日本大震災から、3月11日で10年になります。コロナ禍であっても地震や風水害は時と場所を選ばず襲ってくるのが現実です。災害時に強い、防災の備え「かまどベンチ」の設置や避難所としての「中学校体育館」のエアコン設置の進捗状況は。

答弁（総務広報課長）

自主防災組織活動と小中学生防災教育の一環として、かまどベンチづくりワークショップ開催計画をしましたが、新型コロナウイルスの影響で実施できていません。整備中の地域福祉センター前の公園には、「かまどベンチ」設置も検討しており、また中学校体育館エアコン設置は建替えも考慮し検討していきます。

要望

体育館の建替えも含め、整備方法を早急に検討していただきたい。

質問③

脊柱側弯症は成長期に背骨がねじれて曲がる疾患で、症状が進行すると重大な障害が生じるため早期発見・早期治療が重要です。①当町の現在発症率の状況。②側弯症に関する検査内容。③学校、家庭での早期発見対策は。

答弁（教育次長）

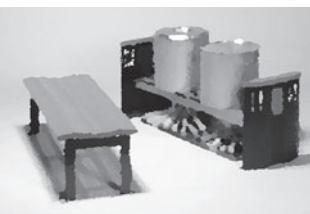
①発症率は小学校1・8%、中学校4・85%
 ②事前に家庭で保健調査票に基づき背骨や手足をチェックし学校に提出。
 ③学校医が異常を疑った生徒に視触診を行い病院での受診を促しています。

再質問

国が本年2月に閣議決定し、側弯症に関しても環境整備に向けた検討を行うとのことです。早期発見のための検査方法に「モアレ検査」が大変有効。背中に光をあて撮影する事で背骨のゆがみがわかり、専門医が異常を見つけます。X線を使用しないので身体に一切影響がなく、女子児童が嫌がる視触診はしません。和歌山市は小学校5年生に検査を導入。是非とも参考にし実施してみては。

答弁（教育次長）

県内の状況や実際に実施している自治体の評価などを参考に検討していきます。



かまどベンチ



中畑 仁志 議員

○歴史的資源を活かしたまちづくりの推進について

○教育行政（教育委員会）の広域化について

質問①

湯浅町では、歴史まちづくり法に基づいて、「湯浅町歴史的風致維持向上計画」が策定されたが、何が課題になるのか。また計画の変更や追加、延長は可能か。

答弁（地方創生ブランド戦略推進課長）

法定協議会において、町内の様々な文化財に対する取り組みの推進や景観の向上に努めること、農業や産業との連携といった課題の指摘を受けています。計画の変更、追加、2期計画の策定による延長は可能です。

質問②

重伝建地区における「街並み環境整備事業」として、景観に配慮した道路デザインと地震・津波対策も含めた無電柱化への取り組みについてはどうか。

答弁（産業建設課長）

道路美化化について、安

全で利用しやすく歴史的景観に配慮した道路の美化化を目指します。無電柱化については、地元の協力なしでは実現できないので、工事期間の短縮等を含めた計画の再検討をしていきます。

要望

台風、火事、落雷、竜巻、浸水、地震には無電柱化が強い。地元と話し合い、ぜひ前向きに進めて頂きたい。

質問③

有田みかんシステムが日本農業遺産に認定されたことも含め、特産品等PR総合支援事業の中で、歴史的価値をどのように付加するのか。

答弁（地方創生ブランド戦略推進課長）

醤油・金山寺味噌が日本遺産に、有田みかんシステムが日本農業遺産に認定されるなど、様々な取り組みの成果により、特産品に歴史的価値を付加してきましたが、なお一層PR等に取り組

要望

三宝妈はじめ特産品の歴史的なストーリーを付加したり、日本農業遺産を活かした地域活性化に、どう取り組むのか、十分検討して頂きたい。

質問④

湯浅城跡が国の史跡として認定される運びとなり、城跡マニアなどが訪れることも予想される。観光事業の中で、これまで様々な事業が推進されてきたとあるが、これらの効果についてどう評価しているのか。

答弁（地方創生ブランド戦略推進課長）

醤油醸造や伝建地区など、歴史や文化財が大きな魅力の一つであります。湯浅城跡は新たな魅力として教育委員会と連携し進めていきます。

要望

MBSの承諾を得て「歴

史のまち・湯浅んぼ」の名称で、観光業として潤う企画を検討して頂きたい。

質問⑤

少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境の整備に向けた支援方策について、今しっかりと取り組む必要がある。スチューデント・ファーストをモットーに児童生徒のよりよい教育環境を維持していくために、教育行政（教育委員会）の広域化と広域的な学校組織運営を検討するときに、町長の考えは。

答弁（町長）

少子化が進行する現在において、それに対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方を、検討していかねばならない。町としても子ども達のために何が大切かを第一に考え、近隣町と連携、協議のうえ検討していきます。





石本 一也 議員

安心安全なまちづくりについて

- ①オリ・パラ組織委員会森前会長の女性蔑視発言について
- ②部落差別に関する町民意識調査の問題点について
- ③開かれたコミュニティセンターとしての隣保館について
- ④地元の中核となっている病院のコロナ対応について

質問①

オリ・パラ組織委員会の森喜朗前会長の発言は、非常に問題があると思います。新しい湯浅町男女共同参画基本計画を策定するにあたって町長の考え方は。

答弁(町長)

町民の皆さんがお互いの人権を尊重し、性別を意識することなく、個性と能力を発揮できる湯浅町を目指します。

再質問

役場の女性職員の役職者の割合を数値目標化する考えはあるのか。

答弁(総務広報課長)

数値目標を設定すると同時に、環境整備をしていきます。

質問②

調査の結果、町民の方々

の意識のなかには、未だに部落の人との結婚に反対する意見や住居を選ぶときに部落を避ける意見があります。

差別は、同対事業の法期限と同時になくなつたという誤った意識もあります。が、粘り強く啓発をしては。

答弁(町長)

悲しいことに湯浅町には「寝た子を起こすな論」の考え方を持たれた方が少なからずいるということがわかりました。これまで以上にしっかりと啓発をしていきます。

要望

差別をなくす基本計画を策定する際には、部落に対する忌避意識や逆差別的な考えを持つ人たちがいることを充分踏まえたいうえで、行政が主体的に努力してくれることを要望します。

質問③

隣保館は、地域福祉の向

上や人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、様々な課題に取り組んでいく必要があると思います。当局の考え方を聞かせて頂きたい。

答弁(副町長)

隣保館の重要性は、充分認識をしています。これからも、地域共生社会を実現していく大きな役割を求められていくと思います。

再質問

今後、断らない相談窓口に対応していくためには、専門的な知識や調整能力のある職員配置をしておくのか。また、野下・出水文化会館は、水害による浸水区域です。安心して利用できるような国の補助金を活用して建て替えをしてくれるのか。

答弁(町長)

町全体の行政課題に取り

組む中で、総合的に検討していきたいと思えます。

要望

厚生労働省では、隣保館建て替えの補助金を残しています。手厚い補助金のある間に建て替えをお願いします。

質問④

地元の中核病院は、救急患者の受け入れ態勢が整わず、遠くの病院まで搬送される患者が多いと聞きます。また、新型コロナウイルス対応も、有田市の病院まで行かなければできないそうです。地元で対応してもらえないようにできないのか。

答弁(健康福祉課長)

以前から、要望をしていますが、ご協力いただけるよう引き続き要望していきます。





久澄 顕人 議員

① 町民への情報伝達手段、町の広報活動について ② 新型コロナウイルス感染症対策

質問 ①

現時点における湯浅町の SNS の活用状況は。

答弁（総務広報課長）

ふるさと納税推進課が SNS を活用し、特産品や返礼品の PR を行っており、観光・グルメ・イベント等は観光部局が発信を行っています。また自治体向けアプリ「マチイロ」にて広報ゆあさの Web 上の閲覧、町からの発信も行っています。

再質問

防災情報や町の施策等、町民への情報発信に各 SNS アカウントの活用・町民メールを導入してはどうか。

答弁（総務広報課長）

適宜必要な情報をお届けするため、SNS やメールを含め、より利便性の高い方法の研究を重ねていきたいと思っています。

再質問

各課ごとの SNS 運用ではなく、町内外への情報伝

達ツールとして、町の総合アカウントの開設・ホームページのリンクを活用してはどうか。

答弁（総務広報課長）

総合的な運用方法は利用者のニーズを踏まえ研究を重ねていき、またホームページのリンクには各 SNS アカウントを一覧として示すスペースを設けることを検討します。

質問 ②

コロナワクチン接種事業における課題、2021年度のコロナ対策方針を問う。

答弁（副町長）

国のワクチン配布のスケジュールが明確に示されず、計画を進めることが困難な状況ですが、必要な情報提供を行っていくことが重要と考えます。経済対策も含め、総合的に施策を検討していきます。

再質問

ワクチン接種について、医療機関や医師会との連携状況は。

答弁（健康福祉課長）

高齢者を対象に集団接種を実施後、町内の医療機関にて個別接種を行えるよう調整中です。医師会とは頻繁に連絡を取り合い、急な対応にも協力いただいています。

再質問

ワクチン接種の相談体制、接種を推進する啓発はどう考えているか。

答弁（健康福祉課長）

町のコールセンターで保健師・看護師の2名体制で相談受付を行います。広報ホームページ、老人大学や高齢者サロン等で安全性を訴えて接種を啓発していきます。

再質問

高齢者、基礎疾患を有する方、介護従事者らに PCR 検査費用の助成制度の導入を。

答弁（健康福祉課長）

感染状況によっては検討していきたいと思っています。

再質問

支援策として、介護事業者への給付金を検討してはどうか。

答弁（健康福祉課長）

現況を確認し、検討します。

再質問

町内における経済対策として、近隣市町が行っているようなクーポン券事業を実施してはどうか。

答弁（産業建設課長）

湯浅町版定額給付金や水道基本料金免除のような町全体に対する支援を検討します。

再質問

2021年度のコロナ対策、町長の考えは。

答弁（町長）

水道基本料金免除を1年間延長する予算を計上しました。町民全体に支援が行き渡るやり方を実施するしていきたいと考えて、ご理解いただきたいと思っています。





三ツ橋 忠男 議員

○県立高等学校の再編整備について
○農業振興について

質問①

きのくに教育審議会の答申を受け、今後高校を大幅に減らしていくというもので、県は秋と2月に説明会を開きました。今ある県立高校を充実させ、可能な限り存続させ、自宅から通学可能なところに多様性と活力のある高校を確保するということですが、湯浅町には、来年百七十周年を迎える耐久高校があります。高校は地域の宝です。みんなで守り育てることが私達の仕事です。そのためにも高校周辺の道路の整備をすぐにも進めるべきだと考えますが当局の見解は。

答弁(教育長)

高校は地域との連携、協働を大切に運営されており、地域活性化につながるものです。地域の実情や意

向も踏まえ、最適な学校環境を整備するのも施策の一つであると考えます。

質問②

高齢化、後継者不足で一部耕作を放棄する人も出ています。病虫害の発生や有害鳥獣の被害、日照不足の要因にもなります。農業委員会、県、JAも活動されていますが、やむなく耕作放棄になる場合は、耕作樹木の伐採や草刈りの確約を進めていくべきでは。

答弁(産業建設課長)

耕作している農地への影響を考え、農地所有者等への耕作放棄地の整備、雑木の伐採の指導を行い、遊休農地解消のため関係機関と協力していく考えです。

質問③

役場の近くから有望な温

州みかんの新品種が発見され、近いうち登録されることになっています。最近、有田みかんのシステムが日本農業遺産として認定を受けました。素晴らしい巡り合わせだと思えます。普及育成には、多くの団体の方の努力が必要です。行政として今後支援していく考えは。

答弁(産業建設課長)

新品種育成普及については、生産者と行政が協力しながら新しい湯浅ブランド化に向け進めていければと考えています。

質問④

農業用排水路事業等で、工事のために木を伐採しているが、木を育て生活する農業者の思いに何らかの支援、補償は。

答弁(産業建設課長)

農業用のかんがい排水路や農道の整備を行う土地改良事業では、従前より負担金を徴収せず、作物補償について受益者の方の協力を得ながら実施しています。引き続き受益者の方の協力を得ながら、今後は設計段階において、作物等にできるだけ影響のない施工箇所及び工法等を選定し、事前に受益者の方と綿密な協議を行っていききたいと考えています。

要望

頑張っている農業者の方の気持ちも考えていただき農業以外の、住民の利益になるという観点から苗木代または、それを育てる諸費用の費用弁償という形で支援して欲しい。





横矢 政明 議員

- ①令和3年度予算について
- ②グラウンド・ゴルフ専用グラウンド
- ③町所有のバス利用について
- ④新型コロナウイルス感染症対策

政策の考え方と具体的な取り組みは。

質問①

答弁(町長)

具体的な取り組みについてお答えします。まず課題として新型コロナウイルスワクチン接種の早期完了に向けて取り組んでいきたいと考えています。また水道基本料金の無償化を令和3年4月以降も継続していきま

再質問

予算面でふるさと納税による恩恵がかなり大きいです。もしかなくなつた場合、湯浅町として対応できるシミュレーションはできているのか。

答弁(総務広報課長)

早急に財政シミュレーションを作っていくしたいと思います。

質問②

答弁(町長)

12月議会からの進捗状況は。

要望

議員要望の専用グラウンドになりうる用地の選定を進めております。用地ができ次第、早速取り組んで行きたいと考えていますのでご了解を頂きたいと思

専用グラウンドを何が何でも作っていただき、山田の湯浅インターを利用して、

県外で行われている近畿大会等が湯浅町で開催できるよう強く要望します。

質問③

12月議会からの進捗状況は。

答弁(副町長)

前回(12月議会)の一般質問を受け、近隣市町の状況を調べた結果、各市町村が実施する事業や公立学校の行事等は、公用バスの運行や民間バスの借り上げで対応しているとのこと

湯浅町においても移動手段を確保しておりますが、その他の任意団体等の利用については、対象団体の基準が明確ではないため、利用制度を整備する必要があります。町民の方々にとって有効活用できるように、今後検討してまいります。

質問④

ワクチン接種について、なぎホールで湯浅と広川が合同で集団接種を行う理由は。

答弁(健康福祉課長)

集団接種会場に設定しましたのは、緊急時の救急対応が迅速にできることが大

再質問

きな要因です。接種により体調が悪くなった緊急時には、会場の医師が対応することになりますが、救急搬送等が必要な場合、隣接する湯浅広川消防組合に人員を増員して対応していただく予定です。また、湯浅広川合同接種の理由については、医師や医療スタッフの数を十分確保するためです。

答弁(町長)

行政の考え方は全町民にワクチン接種していただくことだと思

十分検討してやらせて頂きたいと思





由良 祥治 議員

①湯浅えき蔵図書館について
②危険空き家について

質問①

昨年10月3日にオープンされた、湯浅えき蔵図書館についての利用状況、また図書館協議会の取組みについて伺いたい。

答弁(教育次長)

平成15年度に、旧図書館がリニューアルオープンしましたが、来館人数については、平成25年度からの記録となります。平成25年度の来館人数は2万4,441人、貸出冊数が2万6,909冊、貸出人数が8,312人です。令和元年度の来館人数は2万2,217人、貸出冊数が2万3,274冊、貸出人数は7,496人でした。昨年10月に、えき蔵図書館がオープンし、今年

2月迄の5ヶ月間の来館人数が4万7,350人、貸出冊数が2万5,933冊、貸出人数が5,563人です。湯浅えき蔵に移行してそれぞれに大きく伸びています。

図書館協議会は、8名の委員で構成されており、現在までに2回の会議を開催しております。魅力ある図書館づくりのため、今後も学期ごとに1回程度開催する予定です。協議内容については、館内のレイアウト等、また図書の寄贈の件、新刊購入等について協議をしております。

質問②

現在、特に危険な空き家と町民の方々から、苦情が出ている空き家に特化してお聞きしたい。

答弁(産業建設課長)

湯浅町におきまして、「空き家対策の推進に関する特別措置法」に基づく「勧告」を行った件数は2件、うち1件は除却が完了しております。残りの1件につきましては、湯浅町空き家等の適正管理に関する条例に基づき緊急安全措置を実施しております。

再質問

勧告より既に1年、除却命令、行政代執行となるわけですが、かなり時間が要すると思いますが、当局の考えは。

答弁(産業建設課長)

法律では、その期間の基準というのが設けられておりません。個人の持ち物だ

再質問

ということ、慎重に進めていきたいと考えております。特別措置法に限らず、道路交通法、景観法も併せて、一刻も早く除却を進めて頂きたいのですが、町長の考えは。

答弁(町長)

議員ご指摘のとおりだと思います。しかし、個人の持ち物というのは大変難しいです。危険な箇所を応急処置をしたということ、持ち主より反対に損害賠償を町へ請求されるおそれがあります。町民の安全を考えた時、代執行できるところは、代執行していきたいと考えています。





松本 光成 議員

- ① 人材育成について
- ② 熊野古道等の環境整備について
- ③ 前納報奨金制度について

質問①

人口減少が続いている中、職員の果たすべき役割は今以上に大きい。

公の意識づけと基礎知識は、職員研修等で習得しなければなりません。

そこで、過去5年間の採用人数と、研修内容は、

答弁(総務広報課長)

採用状況は、5年間で53名です。研修は、町の概要や地方自治法・地方公務員法をはじめ、職員としての心構え、接遇、財政、防災、湯浅町の歴史を含めた伝建地区内視察等です。

また副町長より業務の取組、チームワークの重要性等も実施しています。民間研修は毎年、町内の事業所・一部事務組合の協力の下、5日間実施しています。一般研修は、区市町村職員研修協議会主催と町独自でコンプライアンス・ま

ちづくり、人権など様々な研修に取り組んでいます。

再質問

民間企業への研修期間を伸ばしては。

答弁(総務広報課長)

民間事業者や団体等と十分相談し、進めます。

再質問

事務方トップの副町長から総括をお聞きしたい。

答弁(副町長)

現場での研修と、外部からの研修を組み合わせ、湯浅町職員としてふさわしくなるよう取り組みます。部下を育成することは上司の育成にも繋がるので、両面から取り組みたいと思います。

質問②

山田川沿い熊野古道の遊歩道やガイドレールは趣の

あるものにして、訪れる人や町民の方にも親しまれるようにと提案してきました。

令和3年度当初予算で、一部分を実施するこの事業の完成スケジュールは。

答弁(産業建設課長)

山田川右岸の新北栄橋から飛越橋間に張り出し歩道を設置し、景観に配慮した熊野古道を整備する本工事のスケジュールは、地域住民へ工事内容説明後、令和3年度から約5年間で下流の新北栄橋から上流へ工事を進めます。

再質問

下流から工事を進める理由は。

答弁(産業建設課長)

上流のスポーツセンター前用地が未定であり、早く確定すればルートを再検討します。

質問③

湯浅町前納報奨金制度は、財政面が主な理由で平成27年度に廃止しました。以前からNHK受信料や国民年金は前納すれば割引制度があり、町税も前納することにより収納率の向上や、事務の負担軽減となり町民には割引によるお得感が生まれ、年金世代や若者・子育て世代の経済的負担軽減や定住促進にもつながり、町の活性化も期待できます。

答弁(副町長)

来年度から定住促進奨励金増額も実施しますが、引き続き実効性のある施策を検討します。



3月定例会

審議結果	議案名等	石橋千歌子	久澄 顕人	松本 光成	石本 一也	中畑 仁志	三ツ橋忠男	由良 祥治	横矢 政明	松本 典久
承認	専決処分承認を求める件〔令和2年度一般会計補正予算〕	○	○	○	○	○	○	○	○	
適任	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件(3名)	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	コミュニティセンター設置及び管理に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	犯罪被害者等支援条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	観光用駐車場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	介護保険条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	温室・露地栽培施設設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	財産の無償譲渡について(2施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	工事請負契約の締結について(駅前駐輪場整備工事他3工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	指定管理者の指定の件(共同浴他3施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	令和2年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	令和2年度各特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	令和3年度一般会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	
可決	令和3年度各特別会計予算	○	※●	○	○	○	○	○	○	
可決	令和3年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	議会会議規則の一部を改正する規則制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 松本典久議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、-は退席

※令和3年度各特別会計のうち国民健康保険事業・後期高齢者医療について反対

議会の傍聴にお越しく下さい

議会は公開されていますので、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

お気軽にお越しく下さい。

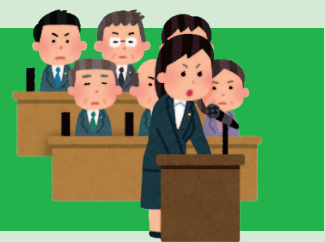
次回の定例会の予定

6月16日(水)～

一般質問

6月24日(木)

開催予定です。



議会広報編集常任委員会

委員長 久澄 顕人
 委員 石本 一也
 委員 中畑 仁志
 委員 三ツ橋忠男
 委員 由良 祥治



編集後記

現在のメンバーで「議会だより」を編集するのは、今号で最後となります。委員一同、知恵とアイデアを出し合い毎号議論を重ねまして、編集に携わってまいりました。2年間ありがとうございました。(久澄 顕人)

